

『MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展』 来場登録開始のお知らせ

—つながる技術、ひろがる未来—

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会(代表理事会長 坂木 雅治/株式会社アマダホールディングス 相談役)主催の「MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展」(7月31日より8月3日まで東京ビッグサイト西1・2&南1・2ホールにて開催)の来場登録をサイト上にて開始いたしました。事前にご登録いただければ無料でスムーズに入場できます。

MF-TOKYO 2019 プレス・板金・フォーミング展は鍛圧機械の専門展として2009年に創設され、以降隔年で開催し今回で6回目を迎えます。初回のMF-TOKYO 2009より出展小間の規模は毎回増加しており、今回は東京オリンピックの国際報道センター開設の関係で会場スペースが17%減少しているにもかかわらず、253社1,716小間(前回265社1,669小間)と過去最大となっております。また、申し込みの方も早割申込期限で満小間になり、出展募集を2か月半早く締め切ることになりました。これも会員企業の積極的な出展と会員以外の企業様からも多くのご出展をいただいたお蔭と感謝しております。また、締め切りが早まりましたことにより、ご不便をお掛けいたしました皆様にお詫び申し上げます。

今回海外からの展示は14か国68社341小間(前回17か国80社362小間)となっており、日本の最先端の技術だけでなく、海外の特徴ある機械との比較も見ていただきたいと思います。海外協賛団体にも5団体参加いただき、相互協力で展示会を盛り上げたいと思います。

MF-TOKYO 2019は「つながる技術、ひろがる未来」を副題に掲げており、鍛圧機械に関連する多くの産業分野の方々にご出展をいただいております。

初回よりご参加いただいております日本塑性加工学会様との連携企画では、大学・高専の研究室ブース出展と研究室発表のほか、前回に引き続き、わかりやすく各社の展示製品・技術・見どころを紹介したイラストを交えた学生様向け展示会ルートマップを作成しました。今後の日本のものづくり技術の担い手である学生の皆様に、ぜひ最新の技術に触れて頂きたいと考えております。ノベルティ製品のプレゼントが用意されている出展企業もございますので、日本塑性加工学会のブースで、展示会ルートマップとオリジナルトートバックを入手頂きご見学いただければと考えております。

併催行事では、将来のモビリティ社会に向けた講演、レーザー加工やホットスタンピングについての講演及びシンポジウムを開催し、新時代の鍛圧塑性加工の可能性を探ります。

学会テクニカルセミナーでは前回同様、日本塑性加工学会様、レーザー加工学会様と日本ばね学会様と日本ねじ研究協会様のご協力で、最先端技術をお話いただきます。

出展者テクニカルセミナーは、今回も40～60分の様々なテーマでご講演、通訳付きの講演もあり毎回充実のラインナップとなっております。

また日鍛工の企画展示では、当会の柱となる“MF事業”についてご紹介いたします。本年1月に受賞したMF技術大賞2点、技術優秀賞3点と奨励賞2点も併せてパネル展示します。

来場された方々には、ゆっくり時間をかけて、日本のすばらしい鍛圧塑性加工技術とレーザー加工技術をご覧いただくとともに、技術のご相談などいただきたいと思います。

告知を貴媒体でお願いするとともに、プレスルームを設置しますので当日の様態などを報道していただければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。

<開催概要>

名称：MF-TOKYO 2019 第6回プレス・板金・フォーミング展
 主催：一般社団法人 日本鍛圧機械工業会／日刊工業新聞社
 後援：経済産業省／厚生労働省／環境省／日本貿易振興機構（ジェトロ）
 特別協賛：日本塑性加工学会／日本鍛造協会／日本金属プレス工業協会／
 日本金型工業会／日本工作機械工業会／日本ねじ工業協会／日本ばね工業会
 協賛：日本自動車工業会／日本自動車部品工業会／レーザ加工学会／
 日本ロボット工業会／日本電機工業会／日本建設機械工業会／
 日本溶接協会／日本精密機械工業会（順不同・法人格略）
 海外協賛：中国机床工具工業協会／中国鍛圧協会／中国模具工業協会／
 インド工作機械工業会／アメリカ製造技術工業会／台湾機械工業同業公会／
 韓国工作機械産業協会（順不同・法人格略）
 会期：2019年7月31日（水）～8月3日（土）9：00～17：00（最終日は9:00～16:00）
 会場：東京ビッグサイト 西1・2&南1・2ホール
 出展小間数：1,716小間（前回1,669小間）
 出展社数：253社・団体（内部出展・共同出展含め294社）
 （前回265社・団体、内部出展・共同出展含め317社）
 来場者数：目標32,000人（前回31,715人）
 入場料金：1,000円※招待券持参者および事前登録者は無料。

併催シンポジウム、セミナー等：

1. 開幕記念講演（会場：会議棟1F レセプションホールB）

7月31日(水)14:00-15:00	将来のモビリティ社会に向けた付加価値工場に資する鍛圧技術		
講師	トヨタ自動車	先進技術開発カンパニー 先進生産技術部 開発技術室 主査	森下 弘一

2. 特別講演（会場：会議棟1F レセプションホールA又はB）

8月1日(木)10:00-11:30	レーザ加工の真髄を探る-いま、なぜレーザか-	(会場:レセプションホール A)
講師	中央大学 研究開発機構フェロー、レーザ協会 顧問	新井 武二
8月3日(土)13:00-14:00	モビリティ革命 2030 beyond-自動車産業の針路-	(会場:レセプションホール B)
講師	デロイト トーマツコンサルティング 自動車セクター シニアマネージャー	濱田 悠

3. シンポジウム（会場：会議棟 1F レセプションホール B）

8月1日(木)14:00-16:00	ホットスタンピングは超ハイテンの冷間プレス成形の限界を超える			
コーディネーター	豊橋技術科学大学	特任教授	森 謙一郎	
パネリスト	アイシン高丘	先行開発部 商品開発チーム	主担当	鈴木 貴之
	アミノ	開発室	課長	村井 裕城
	住友重機械工業	新塑性加工開発 SBU STAF-PJ	プロジェクトマネージャー	上野 紀条
	日本製鉄	技術開発本部 八幡技術研究部	主幹研究員	楠見 和久
8月2日(金)14:00-16:00	自動車製造におけるレーザ加工の最新動向			
コーディネーター	光産業創成大学院大学	副学長 教授	坪井 昭彦	
パネリスト	アマダ	ブランク加工技術部	部長	杉山 明彦
	エイチアンドエフ	技術本部	本部長	中村 一行
	コマツ産機	開発3部 レーザ商品開発グループ	グループ長	岡本 匡平
	トルンプ	レーザ技術部	部長	中村 強

4. 学会テクニカルセミナーセミナー 24 講座
日 時：7月31日（水）～8月3日（土）
会 場：東京ビッグサイト 会議棟 6F 605 会議室
内 容：日本塑性加工学会・レーザ加工学会・日本ねじ研究協会・日本ばね学会の教授陣や開
発陣による、鍛圧機械の最新の加工法や技術の発表。
5. 出展者テクニカルセミナー 71 講座
日 時：7月31日（水）～8月3日（土）
会 場：東京ビッグサイト 会議棟 6F 606・607・608 会議室
6. 日鍛工パネル展示コーナー
(MF 技術大賞、MF スーパー特定自主検査制度、MF エコマシン認証制度、ISO 関連活動)
7. 日本塑性加工学会 22 研究室
8. 日本鍛造協会 30 社

※いずれのセミナーも事前登録制、入場は無料です。

詳細や来場者・セミナー登録に関しましては（URL）をご覧ください。

公式サイト：[https:// mf-tokyo.jp](https://mf-tokyo.jp) 日英中韓4カ国語に対応しています。

本情報に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308号

TEL: 03-3432-4579 FAX: 03-3432-4804 E-mail: info@j-fma.or.jp